







# 充実する日本の森林資源の活用について③

令和2年度森林・林業白書より

## 資料Ⅲ－17 住宅一戸当たりの炭素貯蔵量と材料製造時の二酸化炭素排出量

	木造住宅	鉄骨プレハブ住宅	鉄筋コンクリート住宅
炭素貯蔵量	 6 炭素トン	 1.5 炭素トン	 1.6 炭素トン
材料製造時の炭素放出量	 5.1 炭素トン	 14.7 炭素トン	 21.8 炭素トン

資料：大熊幹章（2003）地球環境保全と木材利用，一般社団法人全国林業改良普及協会：54、岡崎泰男，大熊幹章（1998）木材工業，Vol.53-No.4：161-163.

森林資源の活用先として、木造建築物があげられます。

木造住宅は、鉄骨プレハブ住宅や鉄筋コンクリート住宅に比べ、住戸1戸あたりの炭素貯蔵量が多く、また材量を作る際に排出される炭素の量も少ないことが分かっています。





### 高層木造ビルの概要

用途：ホテル・店舗  
 所在地：北海道札幌市中央区大通西1丁目12番地  
 階数：地上11階、地下1階  
 高さ：46.1m  
 延床面積：6,157m<sup>2</sup>  
 構造：RC造+木造  
 建築主：三菱地所株式会社  
 設計者：株式会社三菱地所設計  
 施工者：清水建設株式会社  
 竣工年：2021年  
 工期：2020年3月～2021年8月（約18カ月）  
 木材利用量：1,200m<sup>3</sup>（うち構造材1,060m<sup>3</sup>）  
 木材の炭素貯蔵量(CO<sub>2</sub>換算)：610 t-CO<sub>2</sub>\*  
 国土交通省令和元年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）

\*独自の計算により算出（構造材分）

最近では、SDGs や脱炭素の観点から、高層ビル、コンビニや外食チェーンといった店舗等、住宅分野以外においても木造化の取り組みが進められています。

これは木材利用の新たな可能性であり、これまで鉄骨造・コンクリート造で作られることの多かった建築物の木造へのシフト、いわゆる「ウッドチェンジ」と言われる取り組みで、非常に注目されています。

### R6.6林野より



地域材を利用した木造店舗（京都府、五条桂店）

当社は、3年間で5550m<sup>3</sup>の地域材活用という目標に向けて、引き続き新規出店・改装・建替をする店舗において地域材を積極的に活用していきます。地域の流通材を調達することで、多くの地域材を活用できるため、店舗の設計に当たっては、一

建築物等において木材の利用を進めることは、「都市等における第2の森林づくり」につながり、2050年カーボンニュートラルの実現など地球温暖化防止への貢献が期待されています。

